子どもたちの感想文

大宮小学校６年　本吉未来

私は日本語と体育の授業を受けました。日本語の授業の教室にはアンパンマンがあって、オーストラリアの子どもたちがアンパンマンを知ってくれていることに驚いたのと、嬉しい気持ちになりました。日本語の授業はみんなとても楽しそうで、英語は分からなかったけれど、日本語を教えることができて嬉しかったです。体育の授業は校庭と体育館で受けましたが、英語が話せなくても体を動かしてゲームができたことが嬉しかったです。

楠目小学校６年　上村龍ノ介

学校には『リセス』と言われる、昼食の一時間前に軽食をとる休み時間があります。そこでは、違ったクラスの人たちと仲良く、家から持ってきた軽食を食べます。定番は、りんごで１個まるまるワイルドに食べます。他にはプレッツェルやパン、クッキー、ゼリーなどもありました。僕は定番にかじりつきました。軽食を早く済ませ、残りの２０分くらいは外で世界一激しいスポーツ、オーストラリアンフットボールやバスケットボールをして過ごしました。

香北中学校３年　中村圭吾

私は、初めの方は、向こうの人たちの英語はネイティブで、聞き取りにくいくらい速いのかなと思っていましたし、用意した土産や香美市紹介プレゼンも受け入れてくれるかと不安でいっぱいでした。しかし、いざ本番、オーストラリアに着いてみると、案外単純で、我々の今までに習った文法を使って、伝えることや聞くことができました。リスニングの力や考える力がついていました。普段の英語の授業も、まるで視点が変わったかのような考え方ができるようになれたと思います。

香北中学校３年　北村穂花

チャペルでの集会（礼拝）は、本当に感動しました。先生たちの歌にのせて子どもたちが踊ったり、愛や平和についての言葉がありました。生きる意味を学ぶことができました。私たちへの歓迎のスピーチや、今何が語られているかが分かる日本語の表示はとてもうれしかったです。全校児童の前での香美市紹介プレゼンは、あまり緊張しませんでした。クイズでみんながすごく楽しんでくれていました。

大宮小学校６年　井本悠晴

僕がオーストラリアに行った時に一番役に立ったのは、学校ですすめている、伝えたい時に言い方が分からなくても、これまでに習って知っている言葉をつなげたり、似ている言葉に言い換えたりして伝える学習の仕方です。ぜひ、この学習方法を続けてほしいです。

大宮小学校６年　依光香澄

日本では掃除の時間は、全校で掃除をする習慣がありますが、オーストラリアでは子どもが掃除をせず、掃除担当の人が掃除をしていたので驚きました。

　多分、この国では子どもは勉強をするために学校に行っているように思いました。日本で掃除をするには理由があるのかなと思いました。自分たちが使う所は、自分たちで管理をするのが日本の文化だと思います。

山田小学校６年　古林宗策

僕が学んだことは、『家の構造について』です。日本には、２階建てや数十階建てのマンションなどがあり、学校の校舎は２階～３階建てが基本ですが、オーストラリアでは、２階建て以上の建物は少なく、１階だけの家や建物が基本でした。面積が広い国なので、そういった所にも余裕があるのだと思います。

大宮小学校５年　尾島沙和

土曜日は、市場へ行きました。いっぱい人がいて日曜市みたいでした。一回家に帰って３時くらいにコアラを見に行きました。コアラを飼っている家があって、コアラを抱っこしました。モフモフしていてかわいかったです。日曜日は、親戚がいっぱい来て、バーベキューをしました。いろいろな人と触れ合えたので良かったです。みんなが帰った後は、スーパーに行きました。スーパーでお土産のお菓子などを買いました、お菓子の中でもチョコがおいしかったです。

鏡野中学校３年　門脇奈々花

私が一番びっくりしたのは『あいさつ』です。オーストラリアでは、あいさつが当たり前にできていて素晴らしいなと思いました。知らない人にでも「Hello!」（こんにちは）と言うし、お店の店員さんは必ず「How are you? 」（元気ですか？）と声をかけてくれます。その一言で、英語になれました。オーストラリアのいいところだと思いました。

鏡野中学校３年　瀧下はな

私が事故なく、楽しく過ごせたのは、私を受け入れてくれたホストファミリーのおかげです。私は日本から来た普通の中学生なのに、家族の一員として扱ってくれて、本当にどこまで幸せなんだと思いました。常に私を気遣ってくれていて、私の名前を呼ぶホストマザーは、私のもう一人のお母さんです。分からないことだらけの毎日もだんだん慣れた頃にお別れの時がきて、とても寂しかったです。

楠目小学校６年　笹岡桃羽

オーストラリアと日本を比べると、自分たちで考えたり行動できることが多いと感じました。児童の席は決まってはいましたが、教室にソファなどもあり、自由な場所に座ったり、グループを作ったりして学習していきました。自分の考えなどを思う存分に言うことができるのも良いところだと思います。また、私たちが出会った人たちは日本語をがんばって勉強していて、できるだけ日本語で話そうとしてくれました。私も少しの英語とジェスチャーを使うなどしてコミュニケーションをとりました。分かり合えた時はとても嬉しかったです。

香北中学校３年　朝倉琉希

オーストラリアの食文化について、興味深い話がある。ホームステイ中に、ホストファミリーに「伝統料理を食べたい」と申し出たところ、「そんなのないよ」と返されたのだ。伝統料理がないってそんなのありかと驚愕（きょうがく）した。しかし、それもそのはずである。オーストラリアは比較的歴史の浅い国であり、しかも多文化社会が形成されている。多文化社会については、学校で社会科の時間によく習ったが、実際に体験したことは、今後一生私の心に残ることだろう。